

主日礼拝

2024年06月02日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「口でイエスは主であると公に言い表し、
心で神がイエスを死者の中から復活させられたと
信じるなら、あなたは救われるからです。
実に、人は心で信じて義とされ、
口で公に言い表して救われるのです。」
(ローマの信徒への手紙 10:9,10)

頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に
グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

リタニー 「地上にびゅうっと風を吹かせて」

～日本キリスト教団出版局「季刊 教師の友 2024年4,5,6月号より～」

司式者：地上にびゅうっと風を吹かせて
会衆：みんなの背中をおしてください。
司式者：世界中の人たちが
会衆：助け合う仲間になるように
司式者：いろいろな言葉の人たちが
会衆：支え合うお友だちになるように。
司式者：どうぞわたしたちを
会衆：神さまの霊で押し出してください。

賛美 2-1 節・3 節「聖なるみ神は」

1 せいなるみかみはわれらのつどいにて、
3 いのちのみかみは主のたままもりて、
いまとともにいます。ひかりをはなちて
かてをあたえたもうかわけのころに
われらのころをてらしてみちびく。
うるおいあたえてやしないたまえり。
主よ、かたりたまえ、したがむわれらは。
主よ、もちいたたまえ、みわざに、われらを。

1 聖なるみ神は われらの集いに
いま共にいます。
ひかりはな 光を放ちて われらの心を
て 照らしてみちびく。
主よ、語りたまえ、従わん、われらは。

3 いのちのみ神は 主の民守りて、
かてをあたえたもう。
かわ 渴ける心に うるおいあたえて
やしな 養いたまえり。
しよ 主よ、用いたまえ、みわざに、われらを。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 39-5 (2回) 「ハレルヤ」

ハレルヤ - ハレルヤ
ハレルヤ - ハレルヤ

聖書 ヨハネによる福音書 3:1～15

新約(新共同訳)P167

1 さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。2 ある夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、だれも行うことはできないからです。」3 イエスは答えて言われた。「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」4 ニコデモは言った。「年をとった者が、どうして生まれることができましょう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるのでしょうか。」5 イエスはお答えになった。「はっきり言っておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。6 肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。7 『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。8 風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」9 するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と言った。10 イエスは答えて言われた。

「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。11はっきり言うておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証ししているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。12わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。13天から降って来た者、すなわち人の子のほかには、天に上った者はだれもない。14そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。15それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。

賛美 348 「神の息よ」

Breathe on me, breath of God
詞：Edwin Hatch, 1835-1889
KAMI NO IKI YO 1
曲：福原亮子, 1969-

1 かみのいきよ、われにふきよて
2 かみのいきよ、われをきよめ
3 かみのいきよ、われをよちめ
4 かみのいきよ、われを生か

あらたなるものにつくりかえよ。
あきよき主とものにゆかせたまえ。
せいれい主のものとゆかせたまえ。
つねに主のものとゆかせたまえ。

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 神の息よ、われに吹きて
あらたなるものにつくりかえよ。 | 3 神の息よ、われをもちい
聖霊のわざにもえたたまえ。 |
| 2 神の息よ、われをきよめ
きよき主と共にゆかせたまえ。 | 4 神の息よ、われを生かし
つねに主のものとゆかせたまえ。 |

説教 「霊によって生まれる新たな歩み」

聖餐式 (前：81-1,2・後：81-3)

賛美 81 「主の食卓を囲み」

MARANA THA
詞：新垣工敏, 1938-
曲：新垣工敏, 1938-

1 主のしよくたくをかこみ、いのちのパンをいただき、
2 主のじゆうじかをおもい、主のふかつをたたえ、
3 主のよびかけにこたえ、主のみことばにしたがい、

すくいさかずきをのみ、主にあつてわれらはひとつ。
主のみくにをまことのぞみ、主にあつてわれらはいきる。
あいのいぶきに満たされ、主にあつてわれらはあゆむ。

マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。

- | | |
|--|--|
| 1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、
救いのさかずきを飲み、主にあつてわれらはひとつ。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。 | 2 主の十字架をおもい、主の復活をたたえ、
主のみ国を待ち望み、主にあつてわれらは生きる。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。 |
| 3 主の呼びかけにこたえ、主のみことばに従い、
愛のいぶきに満たされ、主にあつてわれらは歩む。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。 | |

賛美 346 「来たれ聖霊よ」

Holy Spirit, ever living
詞：Timothy Rees, 1874-1939
ABBOTTS LEIGH
曲：Cyril V. Taylor, 1907-1991

1 きたれせいれいよ、しんずる
2 つよきせいれいよ、しんずる

むれに、たいまはたらきて
むれに、たいまはたらきて

いのちをたまえ。主イエスのこころを
ちかからたまえ。つみにとらわ

ろをこころなきて、ゆたかな
れしこころなきよめ、ゆたかな

みめぐみ、たたえよ、つねに。
たまもの、あたえよ、つねに。

- | | |
|--|--|
| 1 来たれ聖霊よ、信ずる群れに、
絶えず働きて命をたまえ。
主イエスのこころをこころとなして | 2 つよき聖霊よ、信ずる群れに、
今も働きて力をたまえ。
罪にとらわれしこころをきよめ、
ゆたかな恵み、たたえよ、つねに。 |
|--|--|

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 袁 紅
説教 向井 希夫牧師
奏楽 大代 恵
助餐

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。